

一般国道4号 やいたし 栃木県矢板市～なすしおぼらし 那須塩原市間

計画段階評価

第3回 説明資料

1. 地域の意見聴取（第2回）の内容について	・・・	1
2. 地域の意見聴取（第2回）の結果について	・・・	4
3. 対応方針（案）の検討	・・・	21

平成28年5月31日 関東地方整備局

1. 地域の意見聴取(第2回)の内容について

1-1. 意見聴取概要

■意見聴取期間

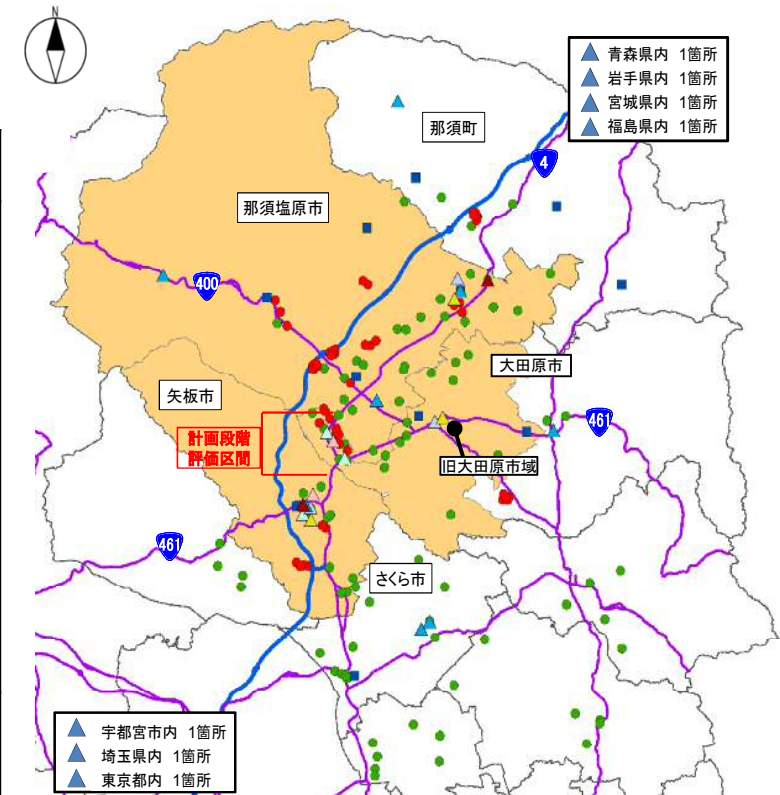
平成27年1月27日(火)～2月26日(木)

■調査票形式、意見聴取の実施状況

調査票形式		配布部数		回収部数 (カッコ内)は回収率	
住民等	ポステイティング	矢板市	14,013部 (13,062世帯)	合計 88,281部 (約80,780世帯)	12,863部 (14%)
		大田原市 (旧大田原市域)	24,344部 (21,525世帯)		
		那須塩原市	49,924部 (46,161世帯)		
留置き	周辺市町の市役所・町役場	さくら市、矢板市、大田原市、 那須塩原市、那須町 [5箇所各50部]	計 250部	合計 600部	13,140部
	周辺市町の道の駅	矢板市(1)、大田原市(1)、 那須塩原市(3)、那須町(2) [7箇所各50部]	計 350部		
Web	一般の意見を聴取	—	—	—	277部
関係団体	郵送	○教育機関(沿線小・中学校) [3校] ○野崎工業団地等の周辺工業団地 会員企業 [105社] ○トラック協会 [7団体] ○栃木県トラック協会塩那支部 会員企業 [109社] ○経済団体 [11団体] ○農業協同組合 [2団体] ○消防本部 [3団体]	合計240団体	72部 (30%)	

※世帯数は、H27.1.1現在住民基本台帳
※対象地域内に存在する全ポストに投函するため、部数は世帯数とは異なる

■住民・留置き、関係団体 意見聴取実施先



※大田原市内の郵送配布は旧大田原市域(着色部)を対象に実施

(住民等)

- 住民意見聴取実施
- 留置き箇所

(関係団体)

- トラック協会
- 商工会議所
- 教育機関
- 消防本部
- 自治会
- 観光協会
- 農業協同組合
- 工業団地会員企業
- トラック協会塩那支部会員企業

1-2. 意見聴取に関する広報の実施状況

- ①ホームページ : 国土交通省宇都宮国道事務所ホームページに意見聴取のページを開設。
栃木県および周辺5市町(矢板市、大田原市、那須塩原市、さくら市、那須町)のホームページで意見聴取を案内。
- ②新聞広告 : 栃木県内2紙に意見聴取への協力を呼びかける広告を掲載
- ③広報チラシ : 広報チラシの自治会班回覧を実施(矢板市、大田原市、那須塩原市)
- ④ポスター : 道の駅7箇所、市役所5箇所意見聴取への協力を呼びかけるポスターを掲載

①ホームページ

◆国土交通省宇都宮国道事務所



◆栃木県および周辺5市町



②新聞広告(H27.2.12朝刊)

地域のみちづくりに皆さまの声を聞かせください！

一般国道4号の東北地域において、「西那須野道路」の整備が進められておりますが、栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間においても、地域や交通等の課題が見受けられますので、その解決に有用な道路整備の計画検討を導いています。地域の意見聴取(第2回)では、ルート検討で重視すべき点についてご意見をお聞かせください。

地域の意見聴取実施期間

平成27年2月26日(木)まで

※ 調査票の配布が完了するまで1週間程度かかります。
※ この募集期間に回答いただいた場合、最終的に発表されない場合があります。

ルート検討の流れ

一般国道4号 栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間の計画検討に関する地域の意見聴取(第2回)を実施しております。

国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所 調査課
〒321-0931 栃木県宇都宮市平松町504 TEL.028-638-2186(直通) 受付時間:午前9時～午後6時(土・日・祝日を除く)

回答方法

- 矢板市、(旧)大田原市、那須塩原市にお住まいの方は、調査票と同封の「郵便はがき」に回答をご記入後、お近くの郵便ポストへ投函して下さい。
- 東北地域(さくら市、矢板市、大田原市、那須塩原市、那須町)の市役所・町役場でも、調査票が入手できます。
- 宇都宮国道事務所ホームページからWebによる回答ができます。

Webによる回答
宇都宮国道事務所ホームページURL
<http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>
〒宇都宮国道事務所

③広報チラシ

地域の専門取組 平成27年2月26日(木)まで実施期間

一般国道4号 栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間の計画検討に関する地域の意見聴取(第2回)へご協力ください。

一般国道4号の東北地域において、「西那須野道路」の整備が進められておりますが、栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間においても、地域や交通等の課題が見受けられますので、その解決に有用な道路整備の計画検討を導いています。地域の意見聴取(第2回)では、ルート検討で重視すべき点についてご意見をお聞かせください。

※ 準備中であり、詳細が不明な点については、お問い合わせ下さい。お問い合わせ先は、国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所 調査課(TEL.028-638-2186)です。

※ 調査票の配布が完了するまで1週間程度かかります。この募集期間に回答いただいた場合、最終的に発表されない場合があります。

※ 調査票の配布が完了するまで1週間程度かかります。この募集期間に回答いただいた場合、最終的に発表されない場合があります。

※ 調査票の配布が完了するまで1週間程度かかります。この募集期間に回答いただいた場合、最終的に発表されない場合があります。

④ポスター(掲示状況)



(道の駅 やいた)

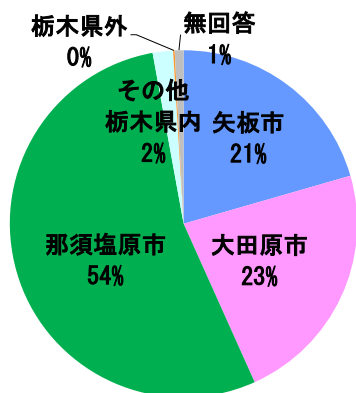
2. 地域の意見聴取(第2回)の結果について

2-1. 意見聴取の結果 住民等(地域区分・属性)

- ◆「地域の意見聴取」の全回収数は13,140人で、ポスティング・留置き12,863人、Web調査277人が回答。
- ◆回答者の地域区分は、矢板市21%、大田原市23%、那須塩原市54%であった。
- ◆ポスティング・留置きの地域別の回収割合は、矢板市が21%、大田原市が23%、那須塩原市が54%であった。

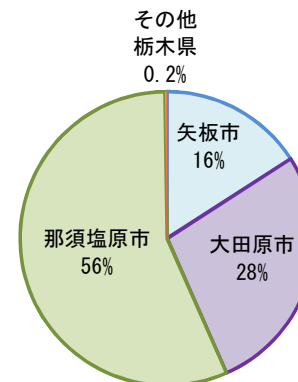
回答者の地域区分

【居住地】



総回答者数
13,140人

【参考】郵送・留置き配布数の地域区分



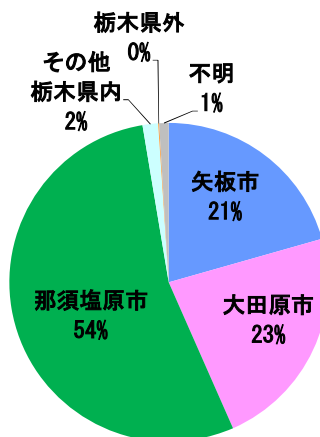
総配布数
88,881部

【居住地(ポスティング・留置き)】

回収数と回収率

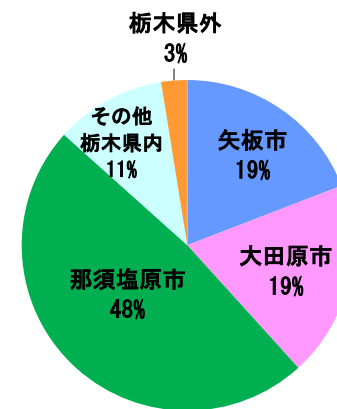
	ポスティング 配布数(部)	留置き 配布数(部)	回収数 (部)	回収率 (%)
矢板市	14,013	100	2,647	18%
大田原市	24,344 ^(注)	100	2,934	12%
那須塩原市	49,924	200	6,943	14%
その他栃木県		200	202	
栃木県外			13	
不明			124	
合計	88,281	600	12,863	14%

【居住地(ポスティング・留置き)】



総回答者数
12,863人

【居住地(Web)】



総回答者数
277人

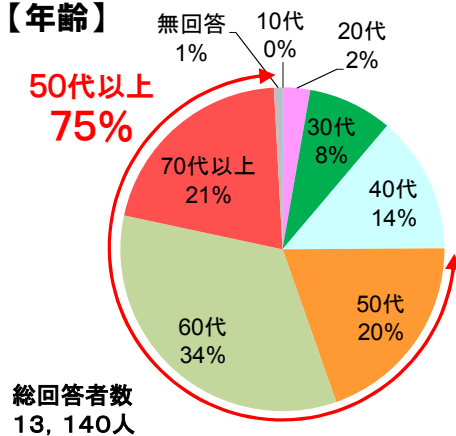
※) 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある (注) ポスティング配布先は旧大田原市域

2-1. 意見聴取の結果 住民等(地域区分・属性)

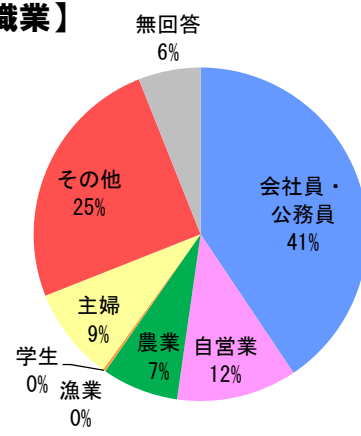
- ◆回答者の属性として地域の実態と比べ、50代以上の回答率が75%と高く、ほぼ全ての回答者が運転免許を保有。
- ◆回答者の性別は男性が約8割と高く、世帯を対象とした配布のため、世帯主が多く回答した可能性。

回答者属性

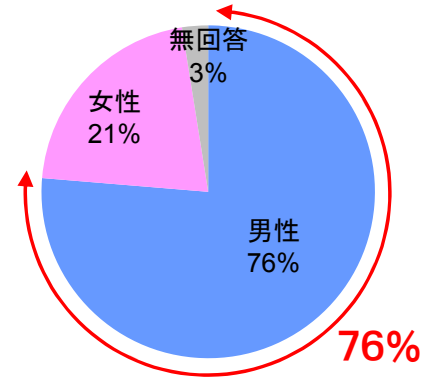
【年齢】



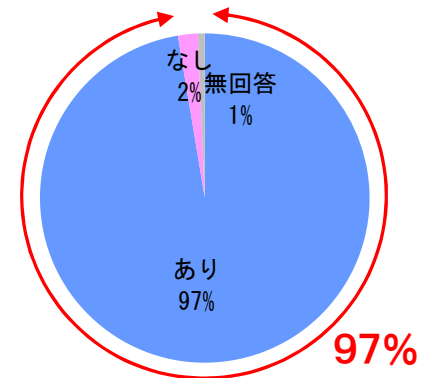
【職業】



【性別】

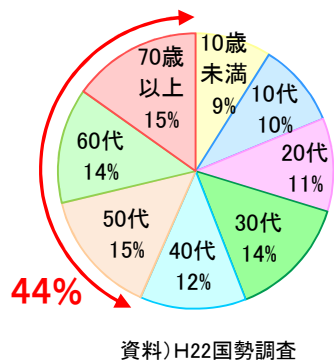


【運転免許】



【参考】矢板市、大田原市、那須塩原市の人口データ

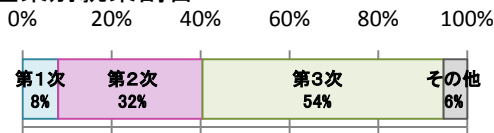
年齢



就業率

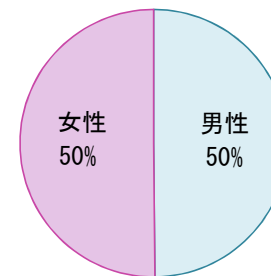
	就業者数	就業率
大田原市(注)	38,327人	56.5%
矢板市	17,287人	56.3%
那須塩原市	59,140人	58.7%

産業別就業割合

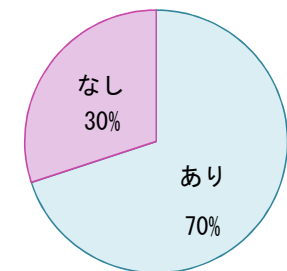


資料) 就業率: H22国勢調査より
(就業者数)÷(15歳以降人口)で算出
産業別就業者割合: H22国勢調査

性別



運転免許保有(※栃木県全域)



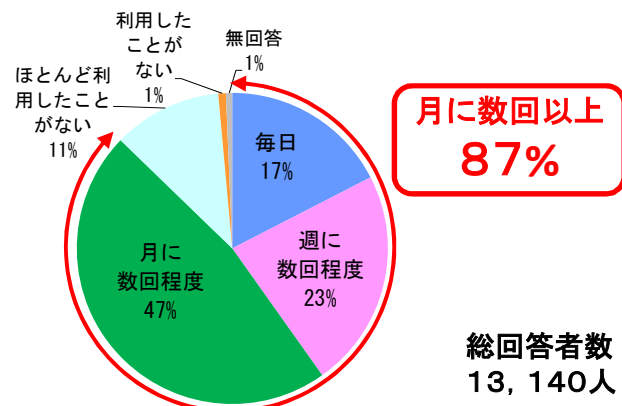
※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある
(注) 大田原市は旧大田原市域を含む全域

2-1. 意見聴取の結果 住民等 (利用頻度・目的・手段)

- ◆利用頻度は、回答者の約9割が国道4号(矢板市～大田原市～那須塩原市)を「月に数回程度」以上利用と回答。
- ◆利用目的は約7割が「私用」と回答。
- ◆移動手段は自動車を利用する人が97%と大多数。

国道4号の利用頻度

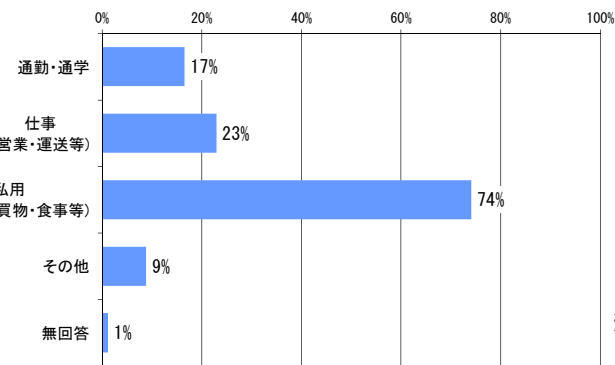
【質問①】国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の利用頻度について、回答して下さい。(単一回答)



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

国道4号の利用目的

【質問③】国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の主な利用目的について、回答して下さい。(複数回答)

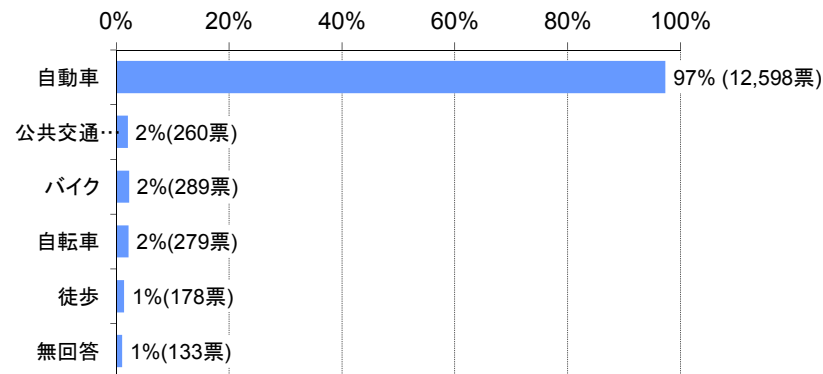


総回答者数 12,951人

※質問①で「利用したことがない」との回答者を除く

国道4号の移動手段

【質問②】国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の移動手段について、回答して下さい。(複数回答)



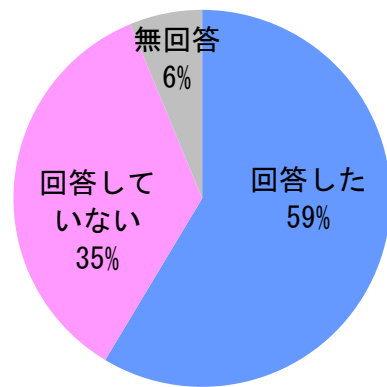
総回答者数 12,951人

2-1. 意見聴取の結果 住民等 (第1回意見聴取の回答有無・結果の妥当性)

- ◆回答者の6割が第1回意見聴取でも回答。
- ◆回答者の85%が「妥当」、「どちらかと言うと妥当」と回答。「どちらかと言うと妥当だと思わない」「妥当だと思わない」の回答は2%。

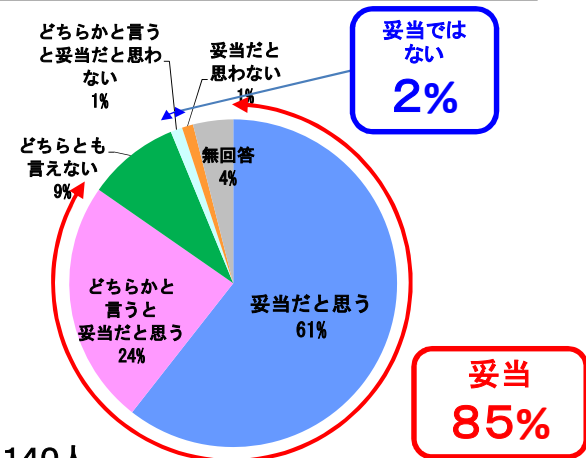
第1回地域の意見聴取について

【属性質問】第1回地域の意見聴取に回答しましたか？
(単一回答)



【質問④】第1回地域の意見聴取結果について、妥当だと思いますか？
(単一回答)

【全体】



総回答者数 13,140人

※四捨五入の関係で構成比の合計が、100%にならない場合がある

【質問⑤】妥当だと思わない理由についてお聞かせください。(自由回答)

分類	主な意見	自由回答記入総数 243件
意見聴取の方法が妥当でない【79件】	<ul style="list-style-type: none"> 回収率が低いので意見として成り立っていないと思います。 	
事業費【40件】	<ul style="list-style-type: none"> もっと必要な事業に税金は優先すべき。 	
必要性が妥当でない【31件】	<ul style="list-style-type: none"> 今回の対象区間の混雑を感じない 対象区間より北側で混雑にあう事のほうが多い。 	
配慮すべき事項が妥当でない【18件】	<ul style="list-style-type: none"> 沿道環境が悪いのは、何も下石上地区だけではないと思う。他地区に於いても下石上地区と条件は変わらないのではないのか？ 	
その他【106件】	<ul style="list-style-type: none"> 今のままで良い ムダな事はしない方が良い 使っていないので分からない。 	

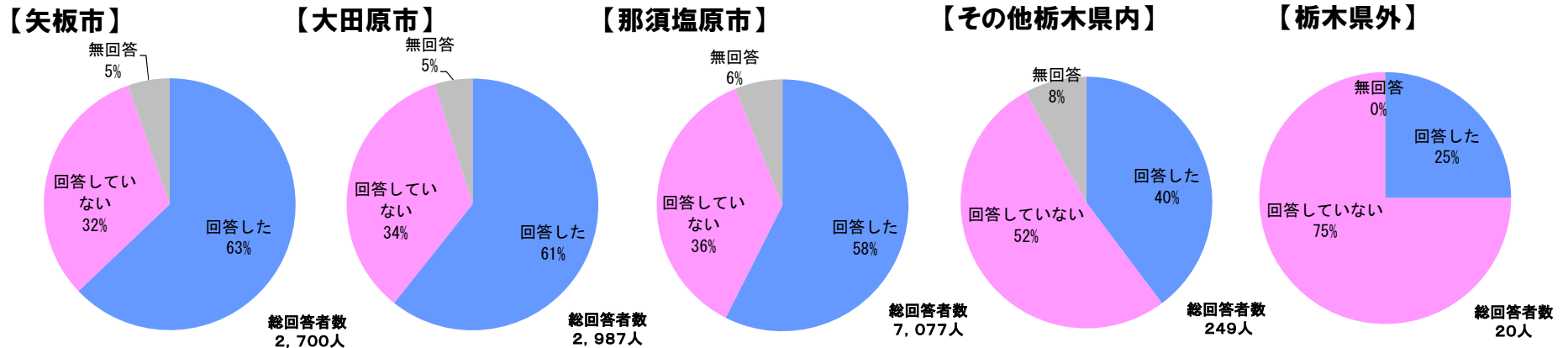
※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～100件→1件、意見数101件以上→2件

2-1. 意見聴取の結果 住民等 (地域別の第1回意見聴取の回答有無・結果の妥当性) 9

- ◆第1回意見聴取の回答有無では、3市とも約6割が「回答した」と回答しており、偏りはない。
- ◆結果の妥当性では、全ての地域で8割以上が「妥当」「どちらかと言うと妥当」と回答している。

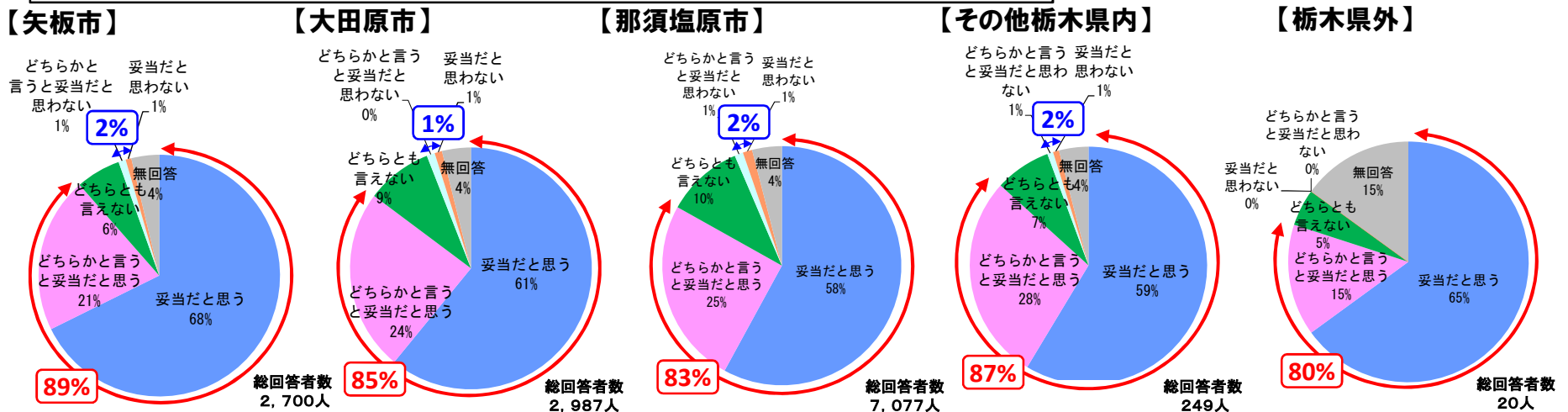
第1回地域の意見聴取について

【属性質問】第1回地域の意見聴取に回答しましたか？ (単一回答)



※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある

【質問④】第1回地域の意見聴取結果について、妥当だと思いますか？ (単一回答)



※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある

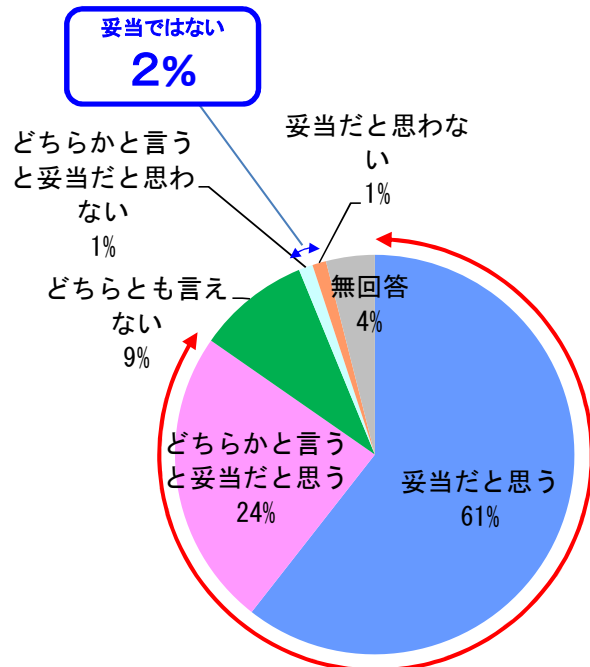
2-1. 意見聴取の結果 住民等 (地域別の第1回意見聴取の回答有無・結果の妥当性)

10

- ◆第1回地域の意見聴取の結果について、全体の85%の人が「妥当」と実感。
- ◆「妥当」と回答した人のうち、国道4号を「月に数回以上」利用する人が約9割。また、「妥当ではない」と回答した人のうち、国道4号を「月に数回以上」利用する人が約8割。

第1回地域の意見聴取について

【質問④】 第1回地域の意見聴取結果について、妥当だと思いますか？(単一回答)

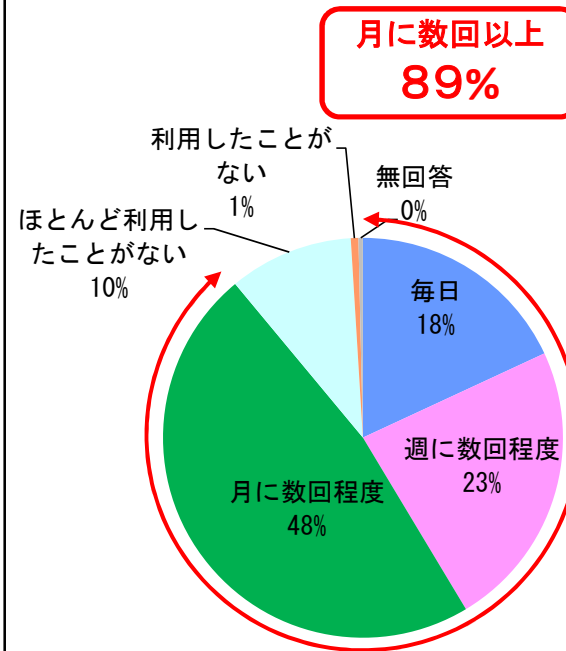


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

国道4号の利用頻度

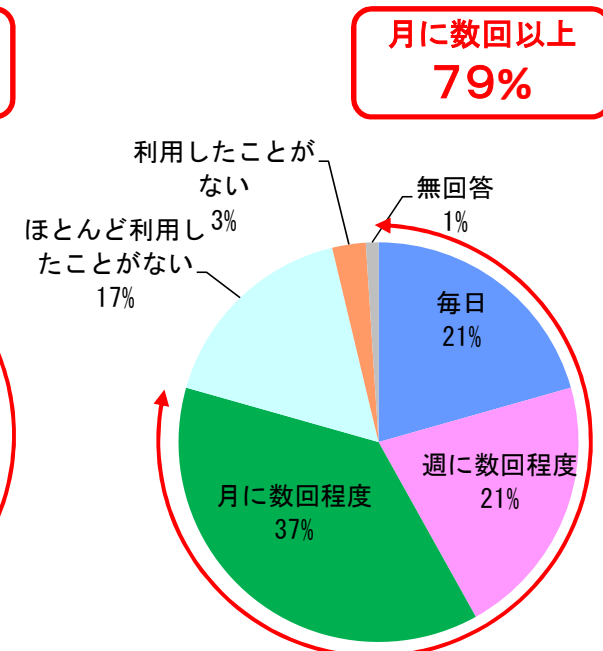
【質問①】国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の利用頻度について、回答して下さい。(単一回答)

【利用頻度(妥当)】



※割合は「質問④で第1回地域の意見聴取の結果が「妥当だと思う、どちらかと言うと妥当だと思う」の総回答数に対する回答数。

【利用頻度(妥当ではない)】



※割合は「質問④で第1回地域の意見聴取の結果が「妥当だと思わない、どちらかと言うと妥当だと思わない」の総回答数に対する回答数。

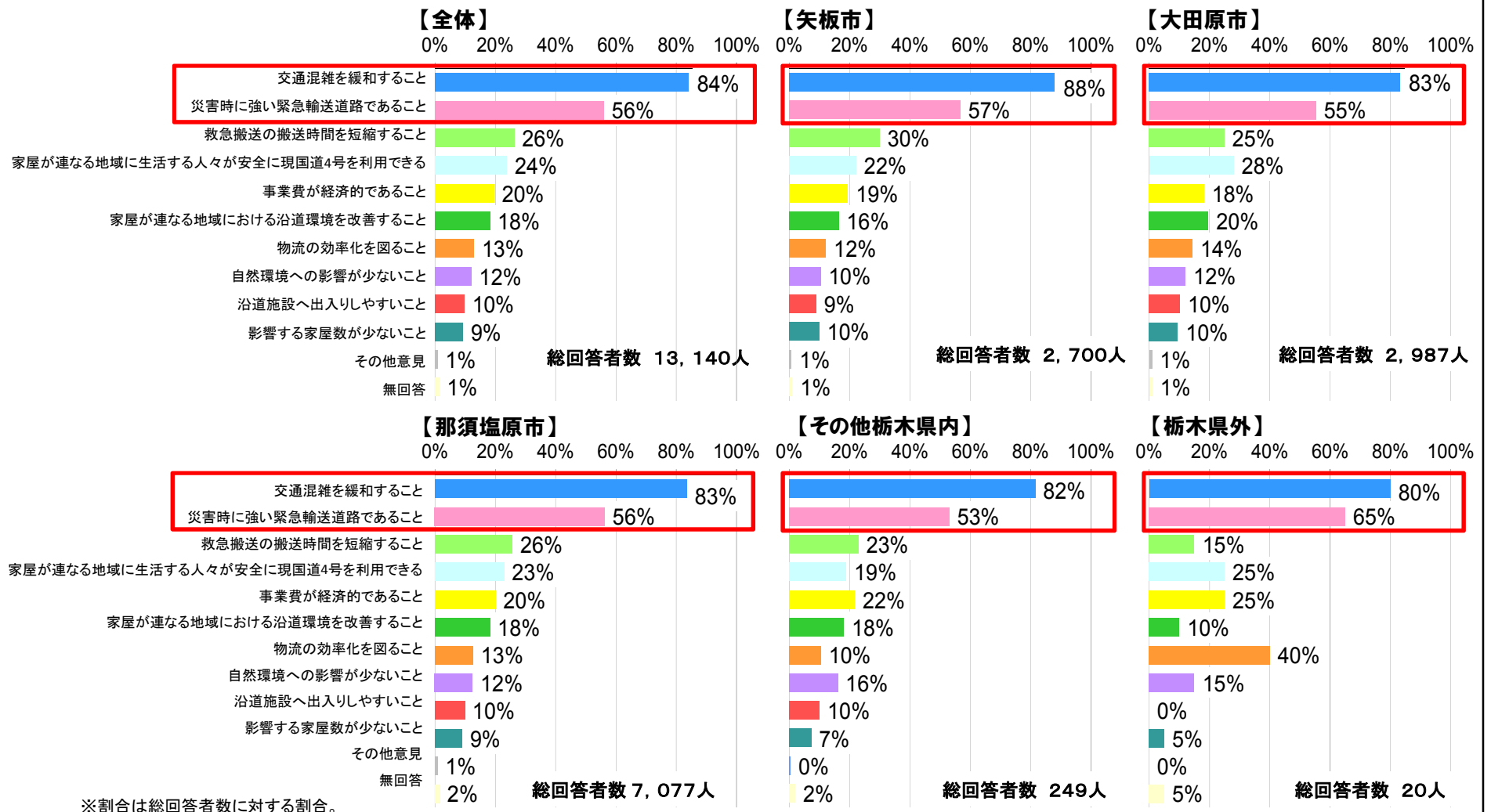
2-1. 意見聴取の結果 住民等 (重視すべき項目)

- ◆全体、地域別ともに「交通混雑を緩和すること」、「災害時に強い緊急輸送道路であること」を重視すべきと回答している人が多い。
- ◆大田原市では「家屋が連なる地域に生活する人々が安全に現国道4号を利用できる」を重視すべきとの認識が比較的高めである。

ルート帯を選ぶ際に重視すべき項目

【質問⑥】地域にとって望ましいルート帯案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？

(回答は3つまで選択)



※割合は総回答者数に対する割合。

2-1. 意見聴取の結果 住民等 (重視すべきと思う理由等の自由意見)

12

- ◆ 質問⑥の自由意見は「交通混雑緩和」、「災害に強い」、「安全」、「事業費」に関する意見が多い。
- ◆ 記載された10項目以外では「早期完成」と「地域の経済発展」に関する意見があった。

【質問⑥】回答欄11 上記項目を重視すべきと思う理由、または、上記以外で重視すべきと思う項目について、ご自由にお書きください。
(自由記述)

	分類	主な意見	自由回答記入総数 211件
政策目標	交通混雑緩和【32件】	<ul style="list-style-type: none"> 交通混雑の緩和が進めば他の項目の解決も図れると思うから。 幹線道路としては混雑しすぎ。但し、効率的な計画を望む。 	
	災害に強い【21件】	<ul style="list-style-type: none"> 災害等で通行止が生じても代替があれば安心。 	
	沿道環境改善【17件】	<ul style="list-style-type: none"> この沿道には住みたいと思えない程ひどいから。 	
	安全【39件】	<ul style="list-style-type: none"> 通学路として安全であること。 利用台数が多い国道区間として、この今の状況はとても危険と思われるため。 	
	物流効率化【7件】	<ul style="list-style-type: none"> 沿線の経済活性化を重視してほしい。 	
	救急搬送の時間短縮【10件】	<ul style="list-style-type: none"> 矢板・大田原間の救急搬送が多いため。 	
その他	自然環境【11件】	<ul style="list-style-type: none"> 50年、100年先を思い重視すべきは人と環境。 	
	沿道出入り【7件】	<ul style="list-style-type: none"> 4号に入る際、すぐに入らず時間がかかる。 	
	影響家屋【7件】	<ul style="list-style-type: none"> 公共移転補償の充実。 	
	事業費【31件】	<ul style="list-style-type: none"> 維持費も考えてほしい。 事業費が莫大にかかるのなら、やらない方がよい。 	
上記以外の項目【104件】		<ul style="list-style-type: none"> 早期に短期間で竣工する事。 沿線の混雑解消・環境改善だけでなく、将来の「地域周辺の経済発展」が重要。 	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～30件→1件、意見数31件以上→2件

2-1. 意見聴取の結果 住民等 (ルート検討で配慮すべき事項)

13

- ◆ 質問⑦の自由意見は「交通混雑緩和」、「安全」に関する意見が多い。
- ◆ 記載された10項目以外では「地域住民の声を取り入れる事」と「交差点・信号」に関する意見があった。

【質問⑦】今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項(自由記述)

	分類	主な意見	自由回答記入総数 4,088件
政策目標	交通混雑緩和【552件】	<ul style="list-style-type: none"> 「<u>混雑の緩和</u>」が最優先に配慮すべき事項である。 矢板市<u>土屋から野崎橋間</u>はいつも混雑しているので何か配慮をお願いします。 	
	災害に強い【281件】	<ul style="list-style-type: none"> 平成10年の那須水害を経験したことから、災害時に<u>強い緊急輸送路の必要性を強く感じる</u>。 	
	沿道環境【289件】	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、排気ガス等の公害増加への配慮や対策。 	
	安全【642件】	<ul style="list-style-type: none"> 沿道環境の改善に配慮して、安全で安心して生活できるようにしてほしい。 大型トラックも多く通る道で、道幅の狭さや歩道の無い区間もあることは致命的。カーブも多く見通しが悪いと事故にも繋がるため、スムーズな進行と同時に<u>安全面への考慮</u>をお願いしたい。 	
	物流効率化【71件】	<ul style="list-style-type: none"> <u>地域の発展性</u>を考慮し、工場の誘致等につなげて頂きたい。 	
	救急搬送の時間短縮【104件】	<ul style="list-style-type: none"> 非常時に短時間で<u>救急医療施設に搬送</u>出来る道路が第一と考える。 	
その他	自然環境【333件】	<ul style="list-style-type: none"> バイパス案には賛成ですが、矢板市、山田、泉地区の<u>鳥獣保護区</u>の環境への影響が心配。毎年ホタルが見れる場所でもある。 	
	沿道出入り【84件】	<ul style="list-style-type: none"> 全体に便利な道路であっても、近場の者が出入りするので生活に不便では不都合である。 	
	影響家屋【192件】	<ul style="list-style-type: none"> 人家をさげ、田畑を利用すれば、経費を安くできると思います。 	
	事業費【353件】	<ul style="list-style-type: none"> 最小の費用で最大の効果を目指して下さい。 	
	上記以外【3,095件】	<ul style="list-style-type: none"> <u>地域住民の声を</u>最大限に取り入れた整備をして欲しい。 <u>信号</u>が少なくスムーズに走行出来る事。 ※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1~500件→1件、意見数501件以上→2件 	

【質問⑧】その他(自由記述)

	分類	主な意見	自由回答記入総数 3,554件
	早期整備【847件】	<ul style="list-style-type: none"> 他の区間の道路整備が進む中、当該区間の渋滞が悪化するおそれがあるので、早急な整備を望みます。 一日でも早い実現を希望します。 	
	交通処理【270件】	<ul style="list-style-type: none"> 新たな渋滞の種になりかねないので、信号の交差点を減らし、立体交差にした方がよいと思います。 	
	住民意見の反映【151件】	<ul style="list-style-type: none"> 実現して、本当に良かったと皆が思うように、地域住民の意見をよく聞いてほしい。 	
	上記以外【2,825件】	<ul style="list-style-type: none"> 造った後の維持管理費まで、考えて進めて欲しい。 住みやすくなって、地域が活性化して欲しい。 ※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1~500件→1件、意見数501件以上→2件 	

2-2. 意見聴取の結果 関係団体 (地域区分・属性・利用頻度・目的)

14

◆回答企業の約9割が国道4号(矢板市～大田原市～那須塩原市)を「月に数回程度」以上利用と回答し、その利用目的は「運送」が7割を占めている。

回答者の地域区分	国道4号の利用頻度
<p>回答者の地域区分</p> <p>【参考】関係団体配布数の地域区分</p> <p>総回答数 72社 総配布数 240社</p> <p>(注) 大田原市は旧大田原市域を含む全域</p> <p>※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある</p>	<p>国道4号の利用頻度</p> <p>【質問①】国道4号(土屋交差点から二区交差点)の利用頻度について、回答して下さい。(単一回答)</p> <p>月に数回以上 89%</p> <p>総回答数 72社</p> <p>※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある</p>
回答者の業種分類	国道4号の利用目的
<p>【質問②】貴社の業態について回答して下さい。(単一回答)</p> <p>総回答数 70社</p> <p>※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある</p>	<p>【質問③】土屋交差点から二区交差点間の主な利用目的について、回答して下さい。(複数回答)</p> <p>総回答数 70社</p> <p>※問1で「利用したことがない」を回答した方が2社いたため、総回答数は70社。</p>

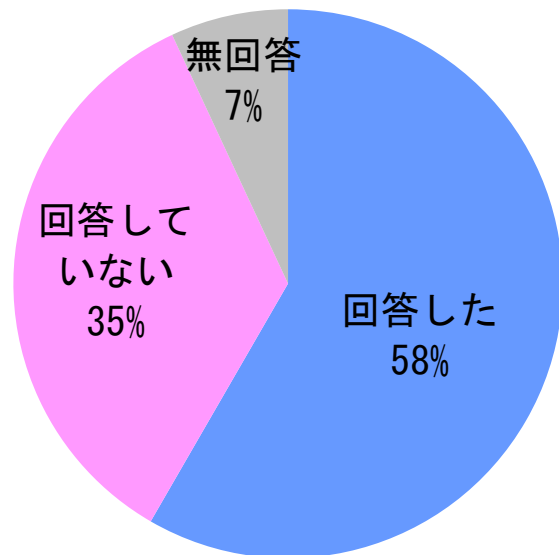
2-2. 意見聴取の結果 関係団体 (第1回意見聴取結果の妥当性)

15

- ◆ 第1回地域の意見聴取も回答している関係団体は、全体の約6割。
- ◆ 「妥当だと思う」と「どちらかと言うと妥当だと思う」の合計が約9割。一方「妥当だと思わない」、「どちらかと言うと妥当だと思わない」と回答した関係団体は1社も無かった。

第1回地域の意見聴取について

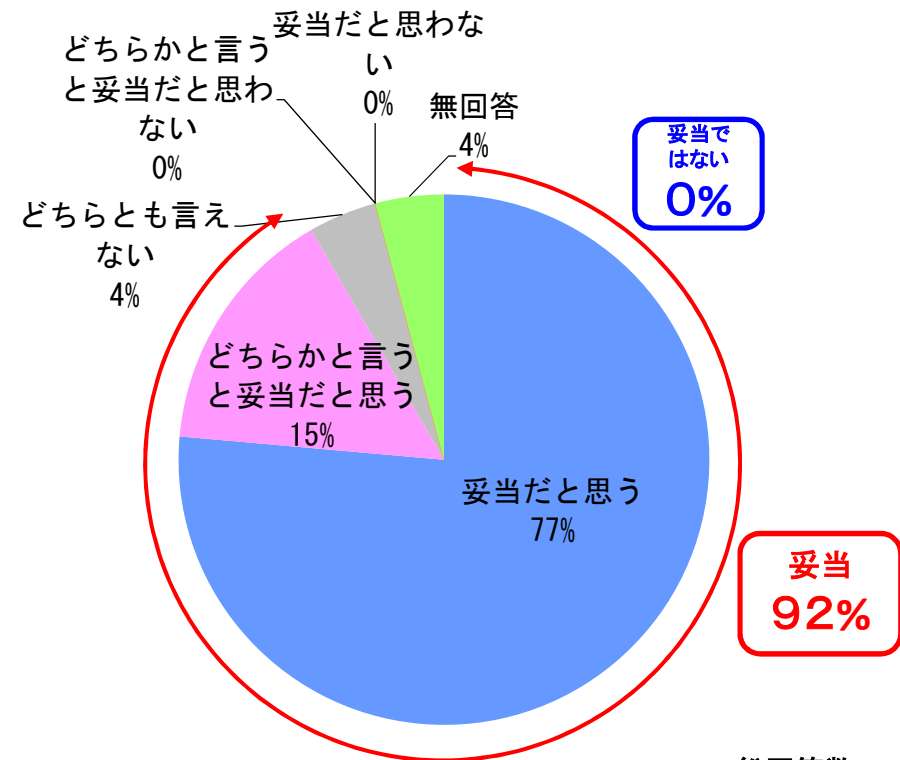
【質問⑨】 第1回地域の意見聴取に回答しましたか？
(単一回答)



総回答数 72社

※四捨五入の関係で構成比の合計が、100%にならない場合がある

【質問④】 地域の意見聴取(第1回)について妥当だと思いますか？
(単一回答)



総回答数 72社

※四捨五入の関係で構成比の合計が、100%にならない場合がある

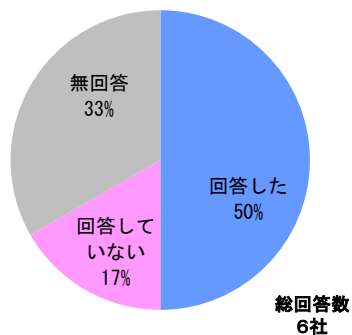
2-2. 意見聴取の結果 関係団体 (第1回意見聴取結果の妥当性)

- ◆矢板市、大田原市、那須塩原市の半数以上の関係団体が、第1回地域の意見聴取に「回答した」と回答。
- ◆地域別に比較すると、大田原市のすべて、那須塩原市の96%の関係団体が「妥当」と回答。

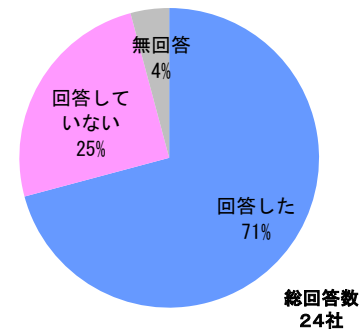
第1回地域の意見聴取について

【質問⑨】第1回地域の意見聴取に回答しましたか？ (単一回答)

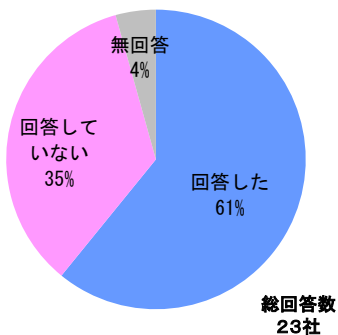
【矢板市】



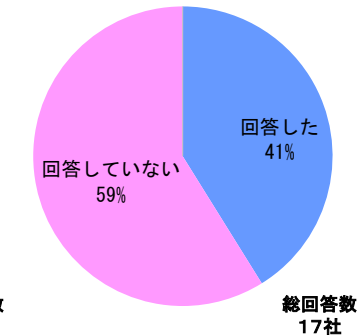
【大田原市】



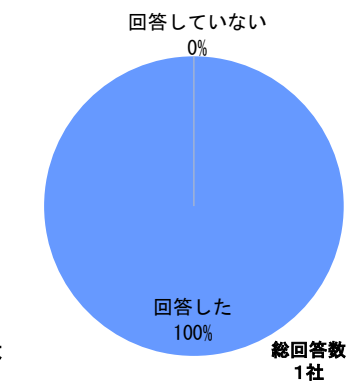
【那須塩原市】



【その他栃木県内】



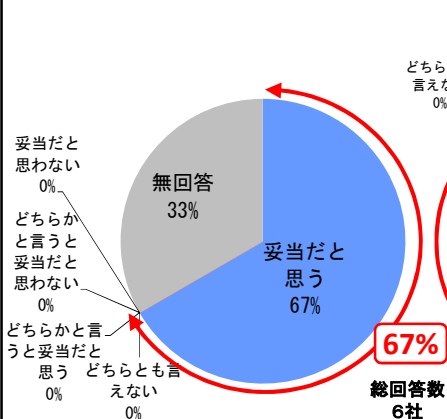
【栃木県外】



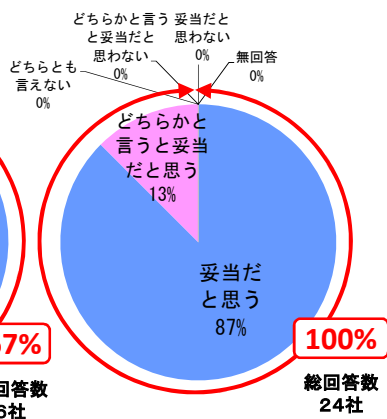
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

【質問④】第1回地域の意見聴取結果について、妥当だと思いますか？ (単一回答)

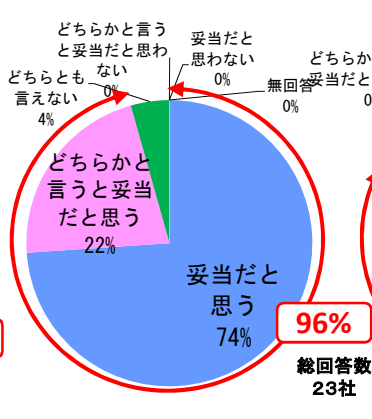
【矢板市】



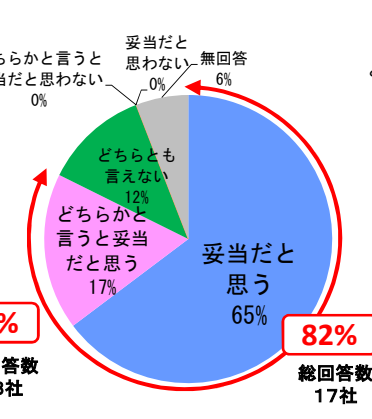
【大田原市】



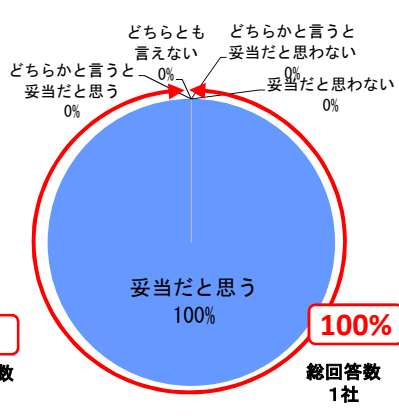
【那須塩原市】



【その他栃木県内】



【栃木県外】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

2-2. 意見聴取の結果 関係団体 (重視すべき項目)

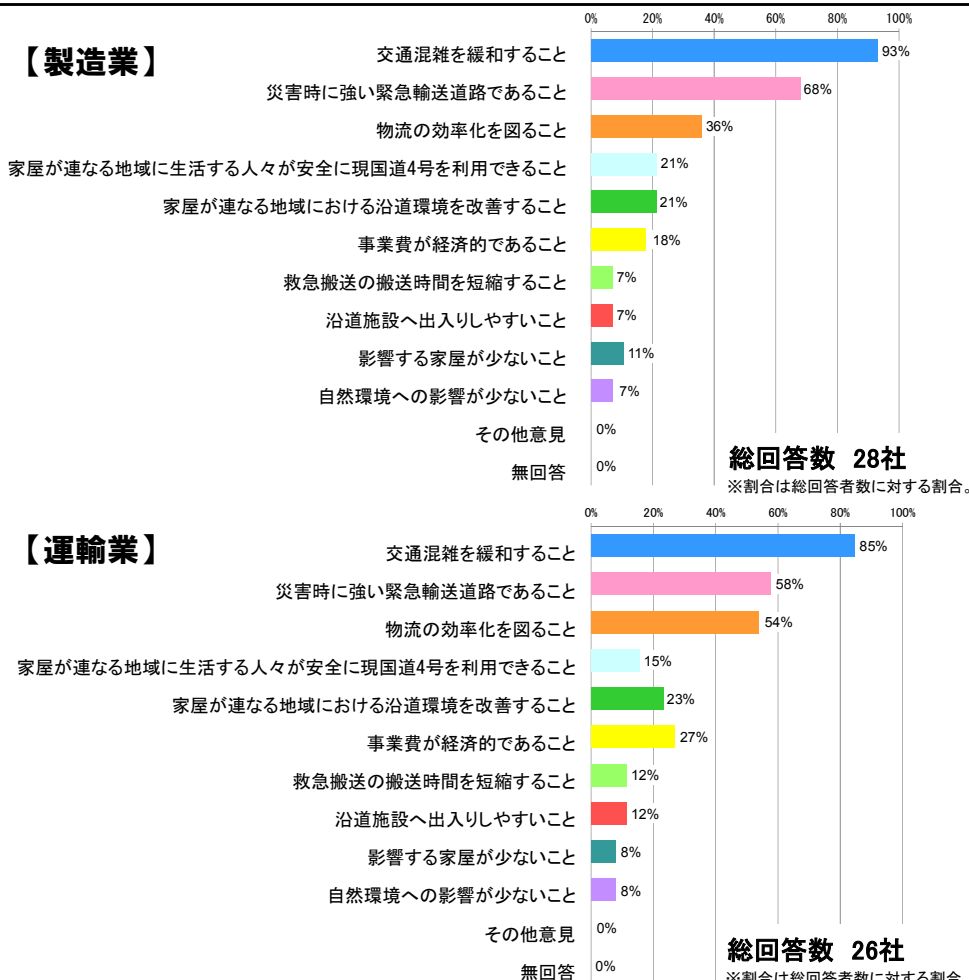
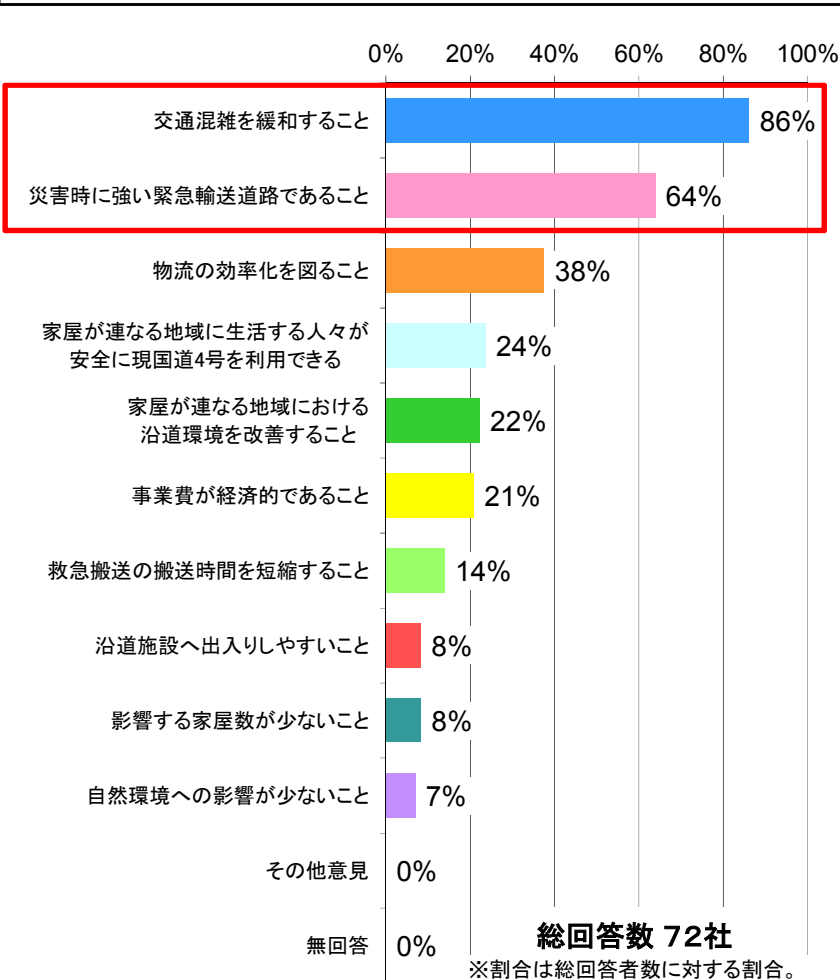
17

- ◆ 全体では、9割弱が「交通混雑を緩和すること」を重視すべき、次いで6割強が「災害時に強い緊急輸送道路であること」を重視すべきと回答している。
- ◆ 業種別では、製造業は「災害時に強い緊急輸送道路であること」、運輸業は「物流の効率化を図ること」を重視する傾向が全体と比べて多い。

ルート検討で重視すべき項目

【質問⑥】地域にとって望ましいルート帯案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？

(回答は3つまで選択)



2-2. 意見聴取の結果 関係団体（重視すべきと思う理由等の自由意見）

18

- ◆「交通混雑緩和」、「災害に強い」、「安全」、「救急搬送の時間短縮」、「事業費」についての意見が寄せられた。
- ◆記載された10項目以外では「早期実現」、「観光へのメリット」、「道幅の狭さ」に関する意見があった。

【質問⑥】回答欄11 上記項目を重視すべきと思う理由、または、上記以外で重視すべきと思う項目について、ご自由にお書きください。
（自由記述）

	分類	主な意見	自由回答記入総数 12件
政策目標	交通混雑緩和【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 那須塩原市から矢板市以南(逆も)へ向かう道路が、国道か佐久山経由(県道大田原氏家線)しかないため、不便である。【観光協会】 ▪ 混雑を緩和する事。<u>朝夕の渋滞</u>を解決する事。【運輸業】 	
	災害に強い【1件】	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 交通混雑の緩和も必要だが、<u>緊急輸送道路の確保</u>は絶対に必要だと思う。【運輸業】 	
	沿道環境改善【0件】		
	安全【3件】	<ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>大型トラック</u>が頻繁に通行しており、事故の軽減、安全において整備は必要。【製造業】 ▪ 当区間にはクランク状の箇所もあり、交通事故等の要因であると考えられる。交通事故が起こればさまざまな悪影響を及ぼす可能性が考えられる為。【運輸業】 ▪ <u>重大事故の減少</u>に繋がる。【消防】 	
	物流効率化【0件】		
	救急搬送の時間短縮【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 狭い上に大混雑するので、緊急時も含め利用しやすくしてほしいため。【観光協会】 ▪ 救急車も動けなくては、<u>助かる命も助からない</u>。【運輸業】 	
その他	自然環境【0件】		
	沿道出入り【0件】		
	影響家屋【0件】		
	事業費【1件】	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ローコストで<u>経済発展に寄与</u>するプランが望ましいと考えるから。【製造業】 	
	上記以外の項目【3件】	<ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>早期の着工</u>。【運輸業】 ▪ 交通混雑の緩和は目的地への移動がスムーズにできるため、<u>観光へのメリット</u>になると考えます。【観光協会】 ▪ 現国道は<u>道幅も狭く</u>、交通量も多い為、国道に出るのに、大変だなと通るたびにいつも思います。【製造業】 	

※全意見を掲載

2-2. 意見聴取の結果 関係団体（ルート検討で配慮すべき事項）

19

- ◆ 質問⑦の自由意見は「安全」、「影響家屋」に関する意見があった。
- ◆ 自由記述意見では「早期完成」や「周辺道路の整備」に関する意見があった。

【質問⑦】今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項(自由記述)

	分類	主な意見	自由回答記入総数 26件
政策目標	交通混雑緩和【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 混雑しないこと。<u>大型車</u>もすれ違えるような道幅にしてほしい。<u>歩道の確保</u>。【観光協会】 	
	災害に強い【2件】	<ul style="list-style-type: none"> 地震に<u>強い橋</u>にすること。【製造業】 	
	沿道環境改善【0件】		
	安全【9件】	<ul style="list-style-type: none"> <u>通学路</u>になった場合の安全性を配慮してほしい。【製造業】 	
	物流効率化【0件】		
	救急搬送の時間短縮【0件】		
その他	自然環境【1件】	<ul style="list-style-type: none"> <u>自然環境</u>への配慮。【業種未回答】 	
	沿道出入り【0件】		
	影響家屋【6件】	<ul style="list-style-type: none"> 家屋の少ない所を見つけて<u>バイパス</u>にした方が良いと思う。【運輸業】 	
	事業費【1件】	<ul style="list-style-type: none"> 「事業費が<u>経済的</u>であること」を満たしていること。【製造業】 	
	上記以外の項目【14件】	<ul style="list-style-type: none"> <u>バイパス案</u>は水田地帯を分断することになるため、耕作車等(トラクター)が安全に横断できる<u>副道の設置</u>が必要である。【その他】 	

※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～→1件掲載

【質問⑧】その他(自由記述)

	分類	主な意見	自由回答記入総数 10件
	早期着工・完成【3件】	<ul style="list-style-type: none"> 時間帯により大変混むので<u>早く事業化</u>してもらいたい。【運輸業】 	
	その他【10件】	<ul style="list-style-type: none"> <u>国道4号</u>は栃木県北の重要路線であり、片岡～黒磯間も同様に検討(<u>バイパス</u>又は<u>現道拡幅</u>)してほしい。【運輸業】 	

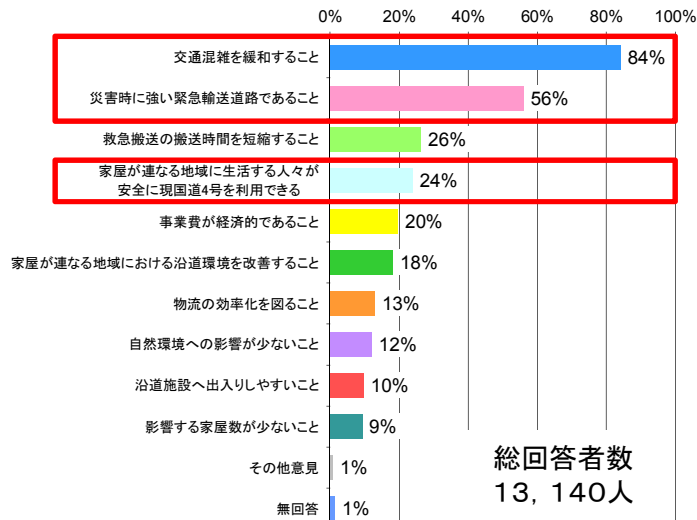
※掲載件数は、意見数に応じた。意見数1～→1件掲載

2-3. 第2回意見聴取の結果のまとめ

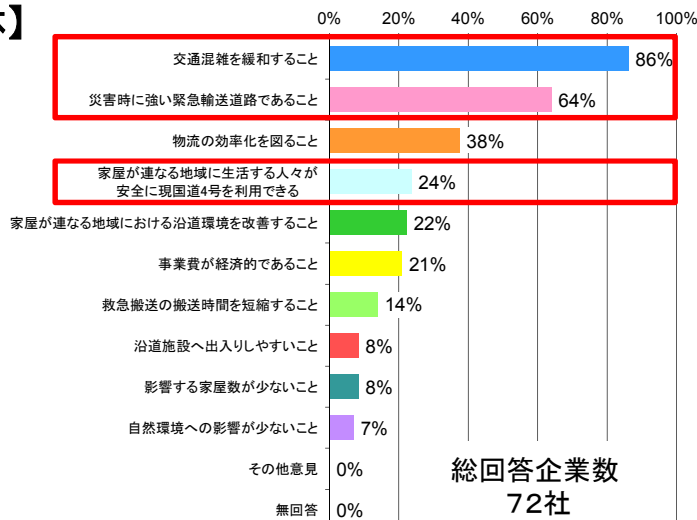
- ◆意見聴取の結果、地域にとって望ましい案を選ぶ際に、住民・関係団体、共に「交通混雑を緩和すること」、「災害時に強い緊急輸送道路であること」の項目を重視している。
- ◆重視すべきと思う理由では、上記の他に、「安全」に関する意見が多かった。

地域が望む道路計画(重視すべき項目)

【住民等】



【関係団体】



重視すべきと思う理由

【住民等】 自由意見総数 211件

- 交通混雑緩和に関する意見 32件
 - ・ 交通混雑の緩和が進めば他の項目の解決も図れると思うから。
 - ・ 幹線道路としては混雑しすぎ。但し、効率的な計画を望む。
- 災害時の緊急輸送道路に関する意見 21件
 - ・ 災害等で通行止が生じても代替があれば安心。
- その他
 - ・ 通学路として安全であること。
 - ・ 利用台数が多い国道区間として、この今の状況はとても危険と思われるため。

【関係団体】 自由意見総数 12件

- 交通混雑緩和に関する意見 2件
 - ・ 那須塩原市から矢板市以南へ向かう道路が、国道か佐久山経由（県道大田原氏家線）しかないため、不便である。【観光協会】
 - ・ 混雑を緩和する事。朝夕の渋滞を解決する事。【運輸業】
- 災害の緊急輸送道路に関する意見 1件
 - ・ 交通混雑の緩和も必要だが、緊急輸送道路の確保は絶対に必要だと思う。【運輸業】
- その他
 - ・ 大型トラックが頻繁に通行しており、事故の軽減、安全において整備は必要。【製造業】
 - ・ 重大事故の減少に繋がる。【消防】

3. 対応方針(案)の検討

3-1. ルート帯案の比較

2つの案の比較結果

比較案	【案①】バイパス案		【案②】現道拡幅案
ルート案の趣旨	箕川渡河部から石上小周辺をバイパス整備し、残りの区間は現国道4号を拡幅する案 バイパス区間（箕川渡河部から石上小周辺）		現国道4号を拡幅する案
混雑の緩和	通過交通のバイパスへの転換が図られるため、現国道4号の混雑が緩和	交通量に応じた車線数が確保され、混雑が緩和	交通量に応じた車線数が確保され、混雑が緩和
災害に強い緊急輸送道路の確保	箕川渡河部をバイパス整備することにより、新たな代替路が確保され、野崎橋が寸断しても広域な迂回が回避されることから、【現道拡幅案】より効果が大きい		野崎橋が拡幅され、緊急輸送道路は強化されるが、新たな代替路が確保されないため、【バイパス案】より効果が小さい
沿道環境の改善	通過交通のバイパスへの転換が図られるため、並行する現道では地域分断が軽減され、騒音や排ガスなども低減するため、沿道に家屋が連なる地域の沿道環境の改善効果が【現道拡幅案】より大きい	大型車などの交通が通行するため地域が分断される。道路幅員が広がり、騒音や排ガスなどは若干低減される	大型車などの交通が通行するため地域が分断される。道路幅員が広がり、騒音や排ガスなどは若干低減されるが、沿道に家屋が連なる地域では、低減効果が、【バイパス案】より小さい
安全・安心な生活空間の確保	通過交通のバイパスへの転換が図られるため、沿道に家屋が連なる地域に生活する人々が安全に現国道4号を利用できることから、【現道拡幅案】より効果が大きい	道路幅員が広がり、歩行・走行スペースが確保される	道路幅員が広がり、歩行・走行スペースが確保されるが、沿道に家屋が連なる地域では、これまでと同様に多くの大型車が通行するため、【バイパス案】より効果が小さい
物流の効率化	交通容量が確保され、混雑緩和により高速ICまでの定時性が向上	交通量に応じた車線数が確保されることで、混雑緩和により高速ICまでの定時性が向上	交通量に応じた車線数が確保されるため、混雑緩和により高速ICまでの定時性が向上
第三次救急医療施設への速達性	通過交通のバイパスへの転換が図られるため、三次救急医療施設への速達性が向上	車線数増加により救急車両優先の走行スペースが確保でき、三次救急医療施設への速達性が向上	車線数増加により救急車両優先の走行スペースが確保でき、三次救急医療施設への速達性が向上
自然環境への影響	天然記念物(植物、動物の繁殖地)に影響を与える可能性があるため、【現道拡幅案】より配慮が必要	天然記念物(植物、動物の繁殖地)はなく、影響を与えることはない	天然記念物(植物、動物の繁殖地)はなく、影響を与えることはない
沿道施設への出入り	現時点で沿道施設への出入りは想定していない	道路幅員が広がるため、沿道への出入りに配慮が必要	道路幅員が広がるため、沿道への出入りに配慮が必要
影響する家屋数等	約50棟（宅地面積：約2万㎡）		約140棟（宅地面積：約6万㎡）
事業費	約230～270億円		約260～300億円

 意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目



○【案①】バイパス案は、【案②】現道拡幅案に比べ、課題を解決するための政策目標である、混雑の緩和、災害に強い緊急輸送道路の確保、沿道環境の改善、安全・安心な生活空間の確保への効果が優れている。
 また、沿道施設への出入り、経済面でも優れており、意見聴取で得られた地域ニーズにも応えることが可能である。

■道路整備の必要性

<p>【理由】</p> <p>政策目標を達成できる道路の必要性を確認</p>	<p>地域の意見聴取等の結果</p>	
<p>【政策目標】</p> <ul style="list-style-type: none">○混雑の緩和○災害に強い緊急輸送道路の確保○沿道環境の改善○安全・安心な生活空間の確保○物流の効率化○第三次救急医療施設への速達性		
<p>【地域の課題】</p>		<ul style="list-style-type: none">○地域が感じている国道4号の課題は、「交通混雑」、「野崎橋が寸断した場合に広域な迂回が生じる」が多い。
<p>【道路整備の必要性】</p>		<ul style="list-style-type: none">○住民や関係団体など回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。
	<p>【ルート検討において重視すべき事項】</p>	<ul style="list-style-type: none">○地域にとって望ましい案を選ぶ際に、住民・関係団体、共に「交通混雑を緩和すること」、「災害時に強い緊急輸送道路であること」の項目を重視している。○また、重視すべきと思う理由では、上記の他に、「安全」に関する意見が多かった。
	<p>【自治体の意見】</p>	<ul style="list-style-type: none">○栃木県および沿線地方公共団体から原案に賛成するとともに、早期整備を要望するとの意見をいただいている。

■対応方針(原案)

1. ルート案については、
「ほうきがわ 箒川渡河部からいしがみ 石上小周辺をバイパス整備し、残りの区間は現道2車線を拡幅する【案①】バイパス案」とする。

【理由】

- 政策目標である「交通混雑の緩和」、「災害に強い緊急輸送道路の確保」、「沿道環境の改善」、「安全・安心な生活空間の確保」を図る道路であること。
- 「早期着工・実現」が地域から望まれており、支障となる家屋数が少ないため比較的早期実現が可能であること。
- 支障となる家屋数、経済性の面でも優れていること。
- 地域の意見聴取で得られた地域のニーズにも応えられること。

2. 自然環境[天然記念物(植物、動物の繁殖地)]に配慮する。

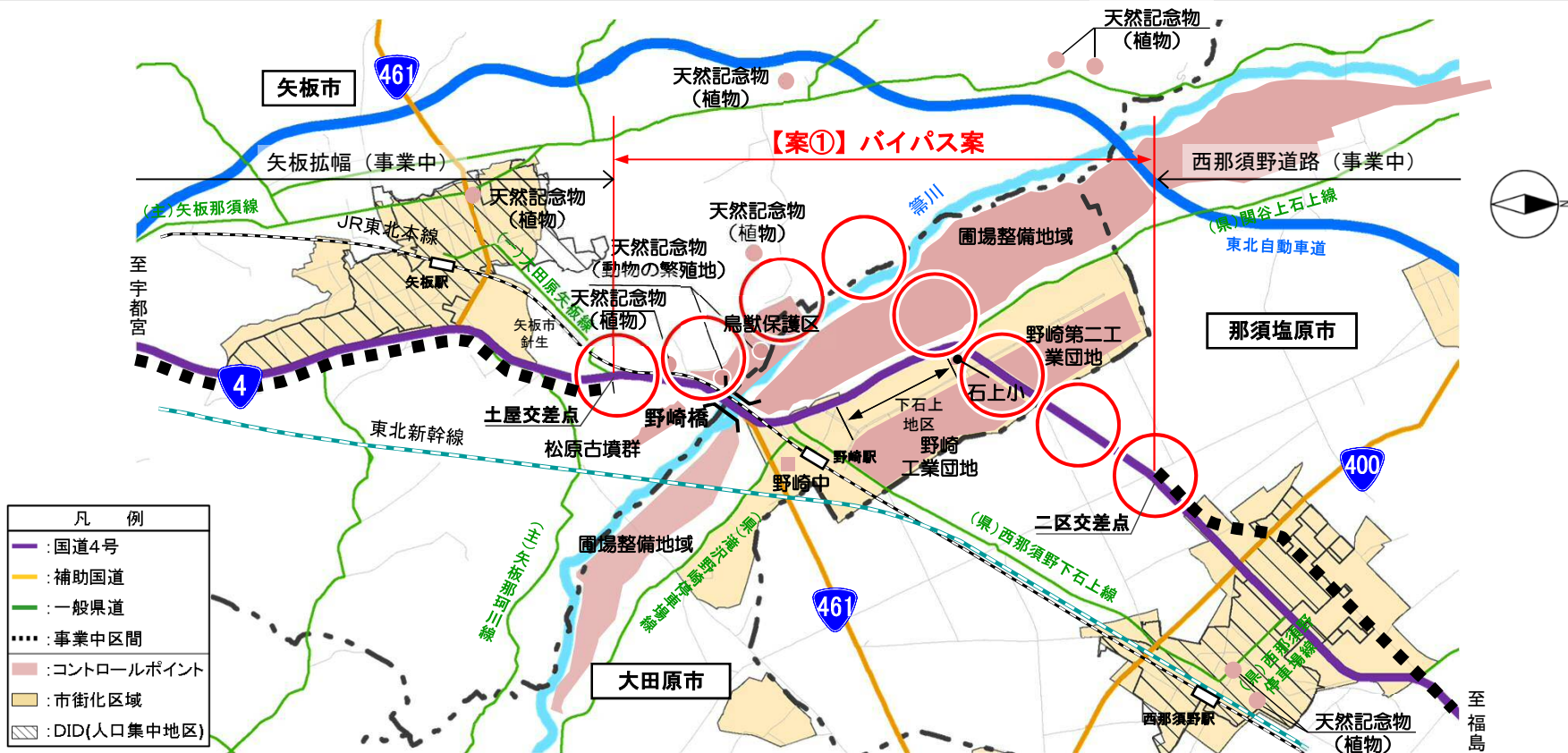
3. 沿道施設への出入り、影響する家屋数、コスト縮減に配慮する。

【ルート帯の考え方】

- ◆ 地域の課題を解決するための政策目標(「混雑の緩和」「災害に強い緊急輸送道路の確保」「沿道環境の改善」「安全・安心な生活空間の確保」「物流の効率化」「第三次救急医療施設への速達性の向上」)を達成
- ◆ 自然環境[天然記念物(植物、動物の繁殖地)]に配慮
- ◆ 沿道施設への出入り、影響する家屋数、コスト縮減に配慮

◇ルート帯案

【案①】バイパス案 …… 箒川渡河部から石上小周辺をバイパス整備し、残りの区間は現道2車線を拡幅する案。



3-4. 自治体への意見照会 [対応方針(原案)に対する意見]

26

◇自治体意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
栃木県	<p>一般国道4号栃木県矢板市～那須塩原市における対応方針(原案)については、異議ありません。</p> <p>本道路は関東と東北を結ぶ大動脈として、県内各地域間の交流・連携を支える重要な路線ではありますが、慢性的な交通渋滞や交通事故が発生しており、経済産業活動はもとより、沿線住民の生活へ甚大な影響を及ぼしているなど機能強化が不可欠な道路であるため、本県としても積極的に取り組んでまいりますので、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>
矢板市	<p>一般国道4号栃木県矢板市～那須塩原市間における対応方針(原案)について、本市としては同意します。</p> <p>一般国道4号の当該区間は、矢板市民の健全な日常生活や企業活動にきわめて重要な役割を担う最も重要な幹線道路であり、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>
大田原市	<p>一般国道4号栃木県矢板市～那須塩原市間における対応方針(原案)に同意します。</p> <p>なお、本路線につきましては、地域住民の安全・安心の確保及び地減産業の振興等を図る上でも大変重要な路線でありますことから、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>
那須塩原市	<p>一般国道4号栃木県矢板市～那須塩原市間における対応方針(原案)について本市としては同意します。</p> <p>現在の一般国道4号矢板市～那須塩原市間において、交通渋滞により市民の日常生活や経済産業活動に支障をきたしている点や、災害時に強い緊急輸送路道路が望まれていることから、早期にバイパス事業に着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>

3-5. 一般国道4号 栃木県矢板市～那須塩原市間の 対応方針(案)

27

◆対応方針(案)

・**バイパス案**とする。

[理由]

- ・ 政策目標である「交通混雑の緩和」、「災害に強い緊急輸送道路の確保」、「沿道環境の改善」、「安全・安心な生活空間の確保」に寄与する道路である。
- ・ 「早期着工・実現」が地域から望まれており、支障となる家屋数が少ないため、比較的早期実現が可能である。
- ・ 支障となる家屋数、経済性の面でも優れている。
- ・ 意見聴取で得られた地域のニーズにも応えられる。

